



証券コード:3501

第137期 中間報告書  
2025年6月1日 ▶ 2025年11月30日

# SUMINOE REPORT



## CONTENTS

トップメッセージ .....	1
ハイライト .....	3
連結財務諸表 .....	4
事業概況 .....	5
トピックス .....	7
ガバナンス・インフォメーション .....	9
株式情報 .....	10



SUMINOE株式会社

SUMINOE Co., Ltd.

## トップメッセージ



未来の発展へ向けて変革に挑み、  
新しい価値の創出に取り組みます。

代表取締役社長  
永田 鉄平

## 当中間期の業績

当中間連結会計期間における日本経済は、物価上昇が継続しているものの、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の拡大を背景に、景気は緩やかな回復基調を維持しました。一方、不安定な国際情勢のもと、米国の通商政策や地政学的リスクの継続による影響などを受け、世界経済の先行きは依然として不透明な状況が続いているます。そうしたなか当社グループでは、自動車・車両内装事業の北中米拠点において前期に立ち上がったフロアカーペットが売上高に寄与したほか、鉄道・バス向けについても回復傾向が続く需要に的確に対応しました。インテリア事業では、「空間」全体をデザインするスペース

デザインビジネスが大きく伸長したことなどから、売上高は529億62百万円(前年同期比4.5%増)となりました。営業利益は、北中米拠点での生産効率悪化などにより、自動車・車両内装事業のセグメント利益が低迷したものの、インテリア事業を中心に原材料・エネルギー価格の高止まりを踏まえた価格改定効果が浸透したことなどから、8億86百万円(同19.5%増)となりました。経常利益は、前年同期に計上した為替差損が為替差益に転じたことなどで、11億87百万円(同165.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は、86百万円(同32.1%増)となりました。

## 通期の見通し

通期の見通しについては、これまでに進めてきた北中米拠点の事業構造改革が功を奏し、想定どおりに受注が増加していることに加え、平均為替レートが計画に対し円安基調で推移しており、売上高の押し上げ効果を見込んでいます。引き続き北中米拠点において、合成皮革工場での高品質製品の安定供給に向けた生産体制構築に注力する一方、自動車メーカーの生産計画変更や新規受注に伴う生産効率がリスク要因となっており、これらの影響に対応するため、日本からの技術支援を含めた改善活動を進めています。こうした状況を踏まえ、通期の見通しは、売上高1,050億円、営業利益31億円、経常利益33億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益15億円を据え置きます。今後、連結業績予想を見直す必要が生じた場合は、速やかに開示します。

なお、当期の配当金は、中間は1株当たり21.5円とさせていただきました。期末配当金も21.5円(予定)とし、年間で43円とさせていただく予定です。

## 次なる成長へ向けて

2024年12月に「住江織物株式会社」から「SUMINOE株式会社」へと社名を変更してから1年が経ちました。呼称が変わらなかったことからスムーズに浸透し、広く好意的に、また今後の変化への期待をもって受け止められています。その期待に応えるため、中長期経営目標後半3ヵ年「SGW STEP II(2025~2027)」の5つの重点テーマ「収益性の向上」「非繊維領域の強化」「グローバル展開のさらなる強化」「経営基盤の強化」「ブランディング」を軸に、グループ一体となって、現状にとどまることなく、足元の事業基盤強化と技術開発や事業

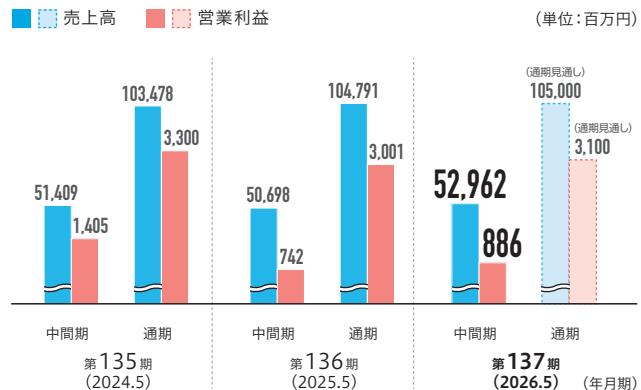
構造の変革を推進しています。

当期については、収益性の向上や在庫水準の適正化、グループガバナンスの実効性向上に向けた取り組みを強化しています。また、既存事業の改善だけでなく、当社グループの成長余地を大きく広げるべく、長年培ってきたコア技術の発展と次世代に向けた新製品の開発に注力しています。さらに、各事業の提案力や技術開発力向上を目的とした投資を進めるとともに、多様な人材が能力を結集し、グループとしての力を最大限に発揮できるよう、海外拠点も含めた部門横断の人事異動を活発化させ、実力の底上げを着実に推進する体制を整えています。

当社グループは、未来の発展に向けて変化を恐れず新たな一步を踏み出し、成長のシーズを育てながら新しい価値を創出していくります。

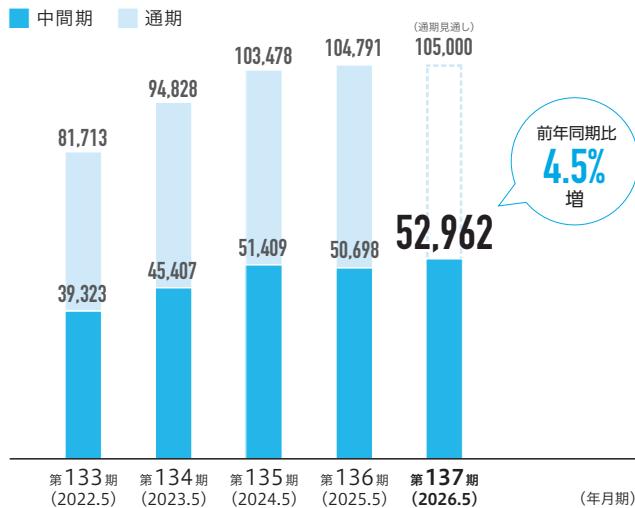
株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

## 連結数値の推移

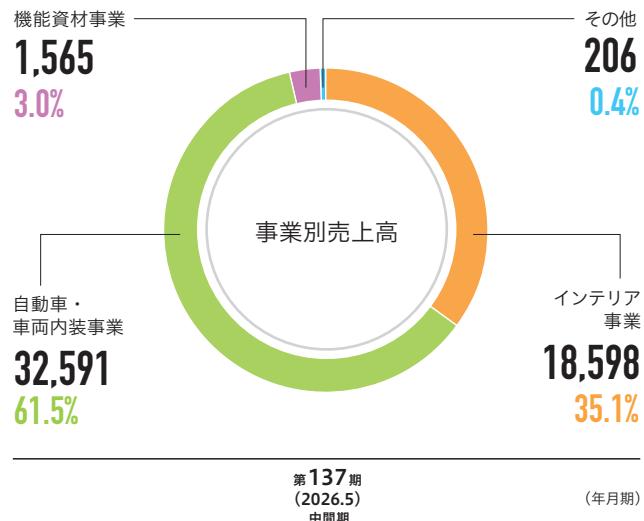


## ハイライト

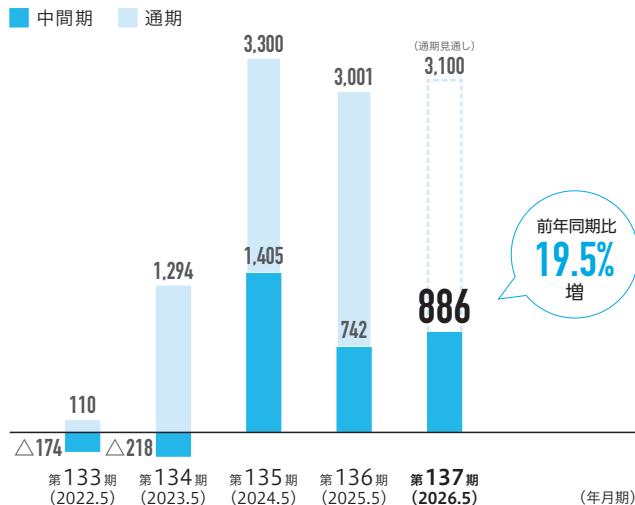
## 売上高



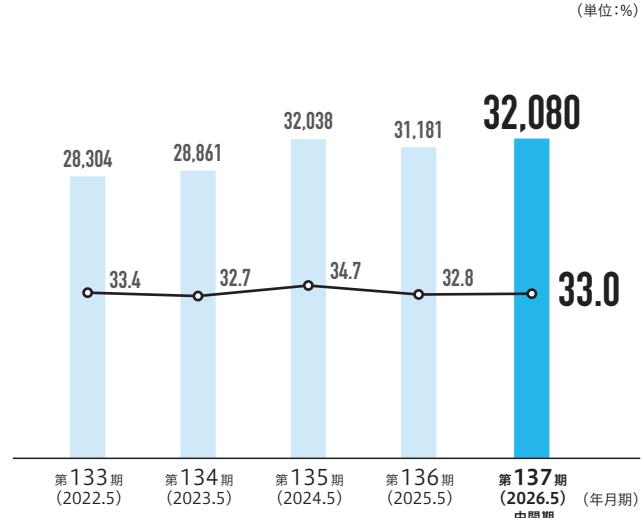
## 売上高構成比



## 営業利益



## 自己資本・自己資本比率



## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前 期 2025年5月31日現在	当 中 間 期 2025年11月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	<b>54,931</b>	<b>56,109</b>
現金及び預金	8,847	10,079
受取手形、売掛金及び契約資産	15,976	16,051
電子記録債権	9,423	9,662
棚卸資産	17,097	16,989
その他の資産	3,587	3,327
固定資産	<b>40,045</b>	<b>41,067</b>
資産合計	<b>94,976</b>	<b>97,177</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	<b>42,606</b>	<b>43,865</b>
固定負債	<b>15,206</b>	<b>14,955</b>
負債合計	<b>57,813</b>	<b>58,820</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	<b>21,324</b>	<b>21,154</b>
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,388	2,383
利益剰余金	12,358	12,162
自己株式	△ 2,976	△ 2,945
その他の包括利益累計額	<b>9,856</b>	<b>10,925</b>
非支配株主持分	<b>5,981</b>	<b>6,276</b>
純資産合計	<b>37,163</b>	<b>38,356</b>
負債純資産合計	<b>94,976</b>	<b>97,177</b>

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前中間期 2024年 6月 1日から 2024年11月30日まで	当 中 間 期 2025年 6月 1日から 2025年11月30日まで
売上高	<b>50,698</b>	<b>52,962</b>
売上原価	40,225	42,221
売上総利益	<b>10,472</b>	<b>10,740</b>
販売費及び一般管理費	9,730	9,853
営業利益	<b>742</b>	<b>886</b>
営業外収益	434	601
営業外費用	729	301
経常利益	<b>446</b>	<b>1,187</b>
特別利益	443	112
特別損失	36	65
税金等調整前中間純利益	<b>853</b>	<b>1,234</b>
法人税等合計	453	706
中間純利益	<b>399</b>	<b>527</b>
非支配株主に帰属する中間純利益	333	440
親会社株主に帰属する中間純利益	65	<b>86</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

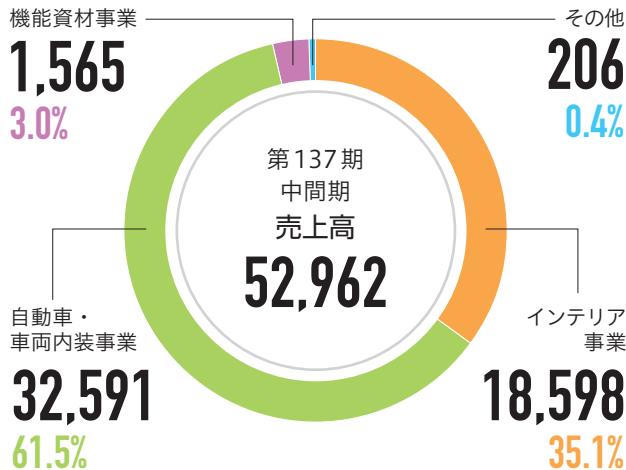
科 目	前中間期 2024年 6月 1日から 2024年11月30日まで	当 中 間 期 2025年 6月 1日から 2025年11月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,130	<b>1,343</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 549	<b>△ 627</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,470	<b>333</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	<b>182</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 187	<b>1,231</b>
現金及び現金同等物の期首残高	8,153	<b>8,697</b>
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,965	<b>9,929</b>

※ 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 事業概況

セグメント別の概況をご報告申しあげます。

### 事業別売上高構成比



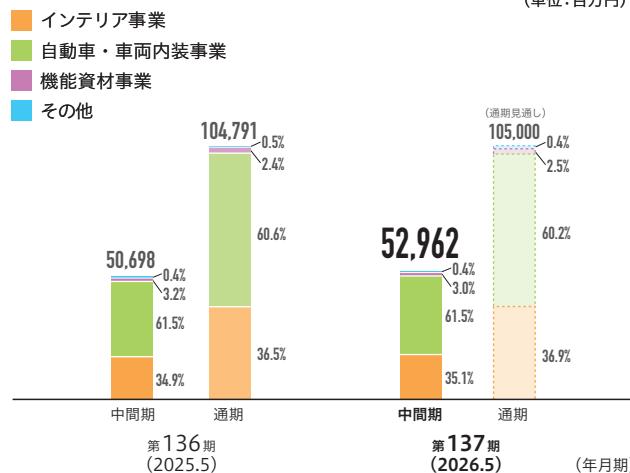
## インテリア事業



## 自動車・車両内装事業



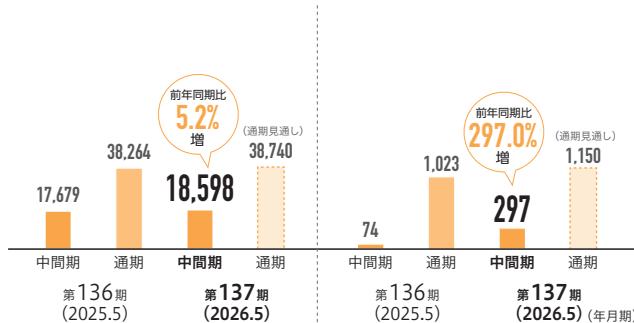
### 事業別売上高推移



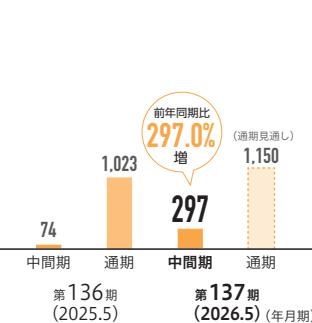
## 機能資材事業



## 売上高 (単位:百万円)



## セグメント利益 (単位:百万円)

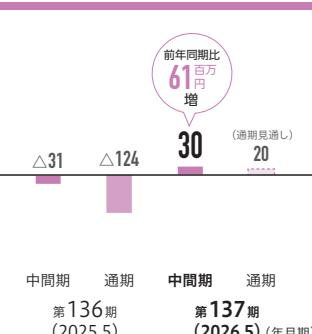
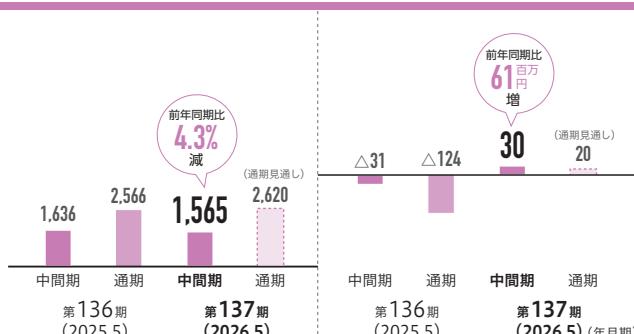
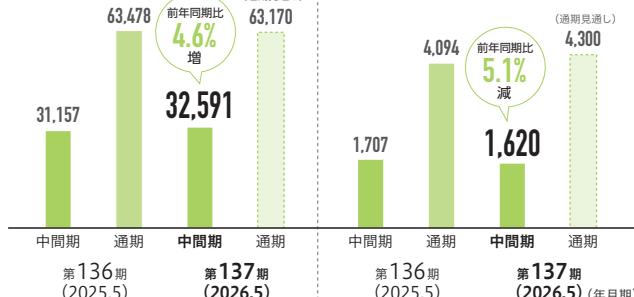


## 当中間期の業績

業務用カーペットではタイルカーペットを中心に納入物件数が増加し、スペースデザインビジネスではショップ内装などの受注が増加しました。また、原材料・エネルギー価格の高止まりを踏まえ前期に実施した価格改定効果により、売上高・利益ともに増加しました。

## 通期について

引き続き、ホテルなどの新規・改修物件の確実な受注獲得に取り組むとともに、中高級ゾーンに対応したラグマットなどの付加価値型製品群の新たな販路開拓や他社との差別化を目指す販売戦略を実行し、さらなるSUMINOEブランドの認知向上を目指します。



北中米拠点でのカーマットやフロアカーペットの堅調な販売や、車両関連におけるコロナ禍で延期されていたリニューアル工事を含む受注増加への着実な対応により、売上高は増加しました。セグメント利益は、北中米拠点での生産効率悪化などにより減少しました。

量産を開始したメキシコ合成皮革工場において、顧客のニーズに対応する高品質な製品を安定的に供給するための体制構築に引き続き注力します。車両関連では、製販一体となって開発・生産体制の維持向上を図ることで旺盛な需要を的確にとらえ、確実に対応します。

家電関連商材において、新たな春夏向けアイテムのラインナップ追加を図る一方、浴室床材の一部モデル転注などにより、売上高は減少しました。利益面は、採算性向上を目的としたベトナム工場の生産体制再編や物流費の抑制などにより改善しました。

近年の季節動向を踏まえ、春夏向け家電関連商材を新たな主力製品として育成し、さらなるラインナップ拡充や販路拡大に取り組みます。また、他部門との連携により機能性に富んだ製品開発および新たな市場開拓に注力します。

## トピックス



### インテリア事業

#### 東京宝塚劇場に当社綴織緞帳が採用

丹後テクスタイルが製造した綴織緞帳が、宝塚歌劇の専用劇場である東京宝塚劇場に採用されました。「THE NATURE OF TIME」と題されたこの緞帳は、森羅万象と共に移ろい動いていく「時の流れ」と、絶え間なく流れる時のなかで、二度とない一瞬の輝きをイメージしています。製作サイズは天地9m、間口24m。熟練の手織技術のもと西陣本綴錦織の製法を用いて約11ヶ月をかけ、丹精を込めて織りあげました。織細なグラデーションを表現するため200色以上の織り糸を使用しており、濃淡の表現により観る角度によって表情が変わる製品です。

### 自動車・車両内装事業

#### 当社内装材が新型「日産リーフ」に採用

当社のPVC合成皮革製品が、新型「日産リーフ」のシート材・インストルメントパネル・ドア材に採用されました。今回発表された新型「日産リーフ」は、2010年に初代が発売されてから15年間で世界累計約70万台を販売したモデルの3代目となり、より先進的な装備と広く開放感のあるインテリアが特徴です。今回納入した内装材は、従来のPVCとは一線を画する金属ライクなパール調にこだわりつつ、スムースでさわり心地の良い触感を実現しています。さらに偏光オーロラ調仕様のPVCもシート材の一部に使用することで、電子調光機能をガラスに内蔵した遮熱機能付調光パノラミックガラスルーフや照明の効果と相まって内装の色が変化し、より上質で快適な空間を演出しています。



## 機能資材事業

### 春夏向け商材「AIR COOL MAT」を新発売

秋冬向けのホットカーペットなどを取り扱う家電事業では、春夏向け商材の開発に着手し、2025年新商品「AIR COOL MAT」を山善のブランドとして展開しました。この商品は、接触冷感生地の就寝用敷マットに当社独自開発のプロワーファンを搭載し、冷感生地の下に風を流すことで、睡眠に快適とされる温度と湿度を維持する機能が特長です。このプロワーファンは静音設計でありながら高い静圧性能を有し、マット全体に風を行き渡らせます。また、中材には当社グループ独自の消臭加工「トリプルフレッシュ®」を施し、快適性を高めました。今後も節電意識の高まりや酷暑傾向が続くなか、エアコン使用の軽減と快適な住環境を提供する商品として、市場での認知度向上とシェア拡大を目指します。



## 技術・生産本部

### 全面マグネット仕様のエレベーター保護材 GRANDEUR™ Magを開発・発売

エレベーター保護材の新製品として、「GRANDEUR™ Mag(グランデュール・マグ)」を開発し、2025年7月より販売を開始しました。表面には、高い意匠性と耐久性を兼ね備えたPVC(ポリ塩化ビニル)製の織物を採用し、汚れや傷が目立ちにくく清掃性に優れています。裏面には当社グループが長年培ってきた樹脂配合技術を活かし、全面にマグネットシートを貼り合わせた構造としています。全面マグネット仕様により、エレベーター壁面への施工時に溶剤臭がなく、施工時間も短縮するなど施工性が大幅に向上するとともに、エレベーター内空間に洗練された美観を提供します。本製品は、タワーマンションやホテルなど、高い付加価値が求められる市場において高い評価をいただきしております、今後さらなる販売拡大を推進します。



## ガバナンス

役員 (2025年11月30日現在)

## 取締役

代表取締役社長 永田鉄平  
 代表取締役常務※ 薄木宏明  
 取締役※ 村瀬典久  
 取締役※ 諏訪和晃  
 社外取締役 清水春生  
 社外取締役 野村公平  
 社外取締役 種田ゆみこ  
 社外取締役 加藤恭子

※の取締役は上席執行役員を兼務します。

## 監査役

常勤監査役 川西浩文  
 社外監査役 天知秀介  
 社外監査役 宮本敏彦

## 執行役員

執行役員 吉澤朋宏  
 執行役員 高島順  
 執行役員 松波浩  
 執行役員 青山雅一  
 執行役員 水野明秀  
 執行役員 佐々木和馬  
 執行役員 服部太郎  
 執行役員 上田研一  
 執行役員 田村裕史  
 執行役員 杉江伸介

## インフォメーション

## 「フライングフェザー」が日本自動車殿堂の歴史遺産車に選出



2025日本自動車殿堂  
JAPAN AUTOMOTIVE HALL OF FAME  
**歴史遺産車**  
HISTORIC CAR OF JAPAN

フライングフェザーは、戦後間もない時期に、住江織物(現SUMINOE)の子会社で自動車ボディ製造を手掛けていた「住江製作所」が製造した軽自動車です。

このたび、そのフライングフェザーが、特定非営利活動法人日本自動車殿堂によって「歴史遺産車」に選出されました。「歴史遺産車」は、自動車産業、自動車交通、自動車文化の発展に貢献した歴史に残すべき自動車と定義されています。

選出にあたり、「フライングフェザー」の構想と先進性は、1960年代に一大ブームとなった軽自動車の嚆矢といえるもので、日本の歴史遺産車としてふさわしいものである。」と評価されました。

なお、表彰式は2025年11月12日、芝浦工業大学豊洲キャンパスにて執り行われ、当社取締役 産業資材事業部門長 諏訪和晃が登壇しました。

フライングフェザーは、当時、来るべきモータリゼーションの時代を先取りするためリスクを怖れず新しい分野にチャレンジしていった、当社の企業精神が表れたものと言えます。

この精神を受け継ぎ、  
**SUMINOE GROUP**はこれからも  
 あらゆる空間にイノベーションを起こすべく、  
 挑戦を続けてまいります。



2025日本自動車殿堂 歴史遺産車  
 ◀「SUMINOE フライングフェザー」



特定非営利活動法人日本自動車殿堂  
『日本自動車殿堂JAHFA No.25』より



2025日本自動車殿堂  
歴史遺産車 表彰状

## 株式情報

### 株式の状況 (2025年11月30日現在)

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式総数	15,364,324株
株主数	12,844名

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社高島屋	1,849	13.94
日本生命保険相互会社	953	7.19
丸紅株式会社	733	5.53
林テレンプホールディングス株式会社	466	3.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託ユニチカ口)	357	2.70
SUMINOE共栄会	313	2.36
SUMINOE従業員持株会	281	2.12
明治安田生命保険相互会社	231	1.74
ヒューリック株式会社	150	1.13
株式会社池田泉州銀行	147	1.11

- ※ 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。
- 2. 当社は自己株式(2,097,906株)を保有していますが、上記大株主からは除いています。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

### 株主メモ

決算日	5月31日
定時株主総会	毎年8月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年5月31日 中間配当 毎年11月30日 その他必要あるときは、予め公告して定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
電子公告 公告方法	当社ホームページをご覧ください。 <a href="https://suminoe.co.jp/ir/">https://suminoe.co.jp/ir/</a>

#### みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 ご連絡先

電話	0120-288-324(フリーダイヤル)
URL	<a href="https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html">https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html</a>
郵送物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

### 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、証券会社の口座に記録されている場合と、特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記の該当窓口までお問合せください。

#### 証券会社の口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先
◎単元未満株式の買増・買取請求	口座を開設されている証券会社
◎届出住所・氏名などの変更	
◎配当金の受領方法・振込先の変更	
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会	株主名簿 管理人
◎未払配当金に関するご照会*	みずほ信託 銀行 株式会社 本店証券代行部
◎その他の株式事務手続きに関するご照会	

#### 特別口座に記録されている株式

お手続き・ご照会の内容	お問合せ先
◎単元未満株式の買増・買取請求	特別口座 管理機関
◎届出住所・氏名などの変更	
◎配当金の受領方法・振込先の変更	
◎郵送物の発送・返戻に関するご照会	株主名簿 管理人
◎未払配当金に関するご照会*	みずほ信託 銀行 株式会社 本店証券代行部
◎その他の株式事務手続きに関するご照会	

\* 未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社、株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店でお取り扱いいたします。

### 本報告書、株式に関するお問合せ先

SUMINOE株式会社 本社総務部

TEL : 06-6251-6801 FAX : 06-6251-0862

会社情報

会社概要 (2025年11月30日現在)

会 社 名	SUMINOE 株式会社 SUMINOE Co., Ltd.
U R L	<a href="https://suminoe.co.jp/">https://suminoe.co.jp/</a>
本 社 所 在 地	〒542-8504 大阪市中央区南船場三丁目11番20号
創 営	1883年(明治16年)
合資会社創立	1913年(大正2年12月25日)
株式会社設立	1930年(昭和5年12月26日)
資 本 金	95億54百万円
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
従 業 員 数	255名(連結2,892名)

国内グループ会社

SUMINOE(株)の事業所

- ① 本社
  - ② 東京支店
  - ③ 奈良事業所
  - ④ 滋賀事業所
  - ⑤ 京都美術工芸所
  - ⑥ 東関東営業所
  - ⑦ 西関東営業所
  - ⑧ 名古屋営業所
  - ⑨ 広島営業所
  - ⑩ 福岡営業所

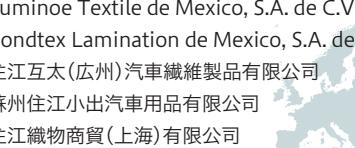


グループ会社

- ① SUMINOE(株)
  - ② (株)スミノエ インテリア プロダクツ
  - ③ ルノン(株)
  - ④ 住江物流(株)
  - ⑤ 関西ラボラトリー(株)
  - ⑥ スミノエ テイジン テクノ(株)
  - ⑦ 丸中装栄(株)
  - ⑧ 住江テクノ(株)
  - ⑨ 丹後テクスタイル(株)
  - ⑩ 帝人テクロス(株)
  - ⑪ 尾張整染(株)
  - ⑫ (株)ソーアイング兵庫
  - ⑬ インテック(株)
  - ⑭ (株)シーピーオー
  - ⑮ (株)プレティアテキスタイル
  - ⑯ 関織物(株)

- 各事業の営業拠点
- インテリア ●自動車内装
- 車両内装 ●機能資材
- スミノエショールーム

## 海外グループ会社

- 
  - ① Suminoe Textile of America Corporation
  - ② Bondtex, Inc.
  - ③ Suminoe Textile de Mexico, S.A. de C.V.
  - ④ Bondtex Lamination de Mexico, S.A. de C.V.
  - ⑤ 住江互太(広州)汽車纖維製品有限公司
  - ⑥ 蘇州住江小出汽車用品有限公司
  - ⑦ 住江織物商貿(上海)有限公司
  - ⑧ T.C.H. Suminoe Co., Ltd.
  - ⑨ Suminoe Koide (Thailand) Co., Ltd.
  - ⑩ PT. Suminoe Surya Techno
  - ⑪ PT. Sinar Suminoe Indonesia
  - ⑫ Suminoe Teijin Techno Krishna India Pvt. Lt.
  - ⑬ Suminoe Textile Vietnam Co., Ltd.

